

■インクルファンド 2022 年度第 2 回助成 応募団体 2 団体
助成額 合計 5,130,000 円

団体名	にわのいえ・もとまち(国分寺市)	仮称)あしたも食べたい弁当屋モモ 準備会(小平市)
企画名	地域の居場所「にわには」の開設	おっきな木準備会「あしたも食べたい弁当屋モモ」立上げ事業
助成の種類	市民版地域福祉計画に基づく新たな地域福祉事業の立上げ準備費用	市民版地域福祉計画に基づく新たな地域福祉事業の立上げ準備費用
団体の概要	生活クラブ運動グループ国分寺地域協議会で、2012～2014 年の 3 カ年計画より、「多世代での居場所づくりをすすめる」をかかげており、その後、更新するたびに目指す項目としてきた。居場所づくりには、その拠点となる場所の確保が必要であり、長期にわたって使える場所を探し続けてきた結果、生活クラブ生協の共同購入仲間の一人から、親の遺した東元町の家を使ってほしいとの申し出があり、ようやく居場所づくりに着手できることとなった。	「弁当屋モモ準備会(以下、準備会)」は、小平市の市民版地域福祉 3 か年計画に基づく、片付け事業「えっさほいさ」のリユースショップづくりを目的とする地域協議会プロジェクト「おっきな木準備会」のメンバーとして、「えっさほいさ」とともに、地域の居場所、相談所づくりを目的としている。9 月に準備会を立ち上げ、学園坂タウンキッチンで週 1 回試行的に販売する。組合員には、お弁当屋の「モニター」として協力いただいている。
助成を受けた事業内容	①誰でもふらっと立ち寄りくつろげる自由なもう一つの「我が家」のような場づくり ②無料塾による子どもたちの学習の手助け ③囲碁や編み物など、自分の趣味を生かした無料教室のスペースの提供 ④工房や実習、練習の為の貸しスペース ⑤講演会、イベント、交流会などのイベント開催 ⑥レンタルボックスの設置 ⑦常設のフリーマーケット ⑧太宰治と緒崎潤氏の交流資料(複製)の展示 ⑨子ども食堂 2023 年 6 月初旬オープン予定	生活クラブ生協の食材を使った安全でおいしい弁当の配食事業。 *「毎日食べても飽きない『普通のご飯』=家庭の味を求める人に向けて」を基本としながら、利用者のニーズに立ち、利用者が望む弁当をできるだけ提供できるような弁当屋になる。 *女性が弁当や惣菜を必要とし、週 3 回利用する場面を調査するため、9 月以降に、生活クラブ生協組合員に依頼し、アンケート調査・試食会・モニター募集を行っていく。生活クラブブランドに立脚する。
助成項目	住宅改修費、備品購入費、前家賃	備品購入費
申請額	2,130,000 円	3,000,000 円
サポーター数	3 名	1 名